

(仮称) 西信達義務教育学校等整備事業

審査結果

令和7年2月

(仮称) 西信達義務教育学校等整備事業者選定委員会

「（仮称）西信達義務教育学校等整備事業者選定委員会」（以下「選定委員会」という。）は、（仮称）西信達義務教育学校等整備事業（以下「本事業」という。）に関し、専門的な見地から、提案内容の審査や事業者の選定等を行うため、泉南市及び泉南市教育委員会（以下「市」という。）により設置されました。

選定委員会が令和6年6月に設置されて以降、約6か月にわたり実施方針や入札説明書等について審議を重ねるとともに、応募グループの提案内容について厳正かつ公正な審査を行い、この度、最優秀提案を選定しました。

提案内容は、新たな学校施設及び多機能化施設の設計、建設、工事監理の各業務について、応募グループのノウハウや創意工夫が発揮された提案となっており、市の要求水準を十分に上回ったものでした。応募グループの事業提案書作成にあたっての熱意と努力に敬意を表します。

ここに、審査結果について講評し、本事業が事業期間にわたり安定的かつ円滑に継続され、本事業の目的が達成されることを期待します。

令和7年2月3日

（仮称）西信達義務教育学校等整備事業者選定委員会
委員長 鈴木 賢一

目 次

1	選定委員会の目的、所掌、審査方法、構成について	1
	（1）目的	1
	（2）所掌	1
	（3）審査方法	1
	（4）構成	1
2	選定委員会の開催及び審議・審査の経緯	3
3	事業提案書の審査経過	4
	（1）資格審査	4
	（2）提案審査	4
4	事業提案書の審査の方法	5
	（1）入札価格の評価【20 点】	5
	（2）提案内容の評価【80 点】	5
	（3）最優秀提案の選定	8
5	審査結果	9
	（1）入札価格評価点	9
	（2）提案内容評価点	9
	（3）最優秀提案の選定	10

1 選定委員会の目的、所掌、審査方法、構成について

(1) 目的

選定委員会は、本事業を実施するため、総合評価一般競争入札による事業者の選定に当たり、専門的な見地から、提案内容の審査や事業者の選定等を行うことを目的とする。

(2) 所掌

選定委員会は、次の事項を所掌とし、その審査結果を泉南市教育委員会に報告しました。

ア 事業者の募集に関すること。

イ 事業者の選定基準に関すること。

ウ 事業者からの提案内容の審査及び事業者の選定に関すること。

エ その他本事業の実施に必要な事項に関すること。

(3) 審査方法

審査は、入札参加資格の有無を判断する「資格審査」、提案内容を評価する「提案審査」の2段階にて実施しました。

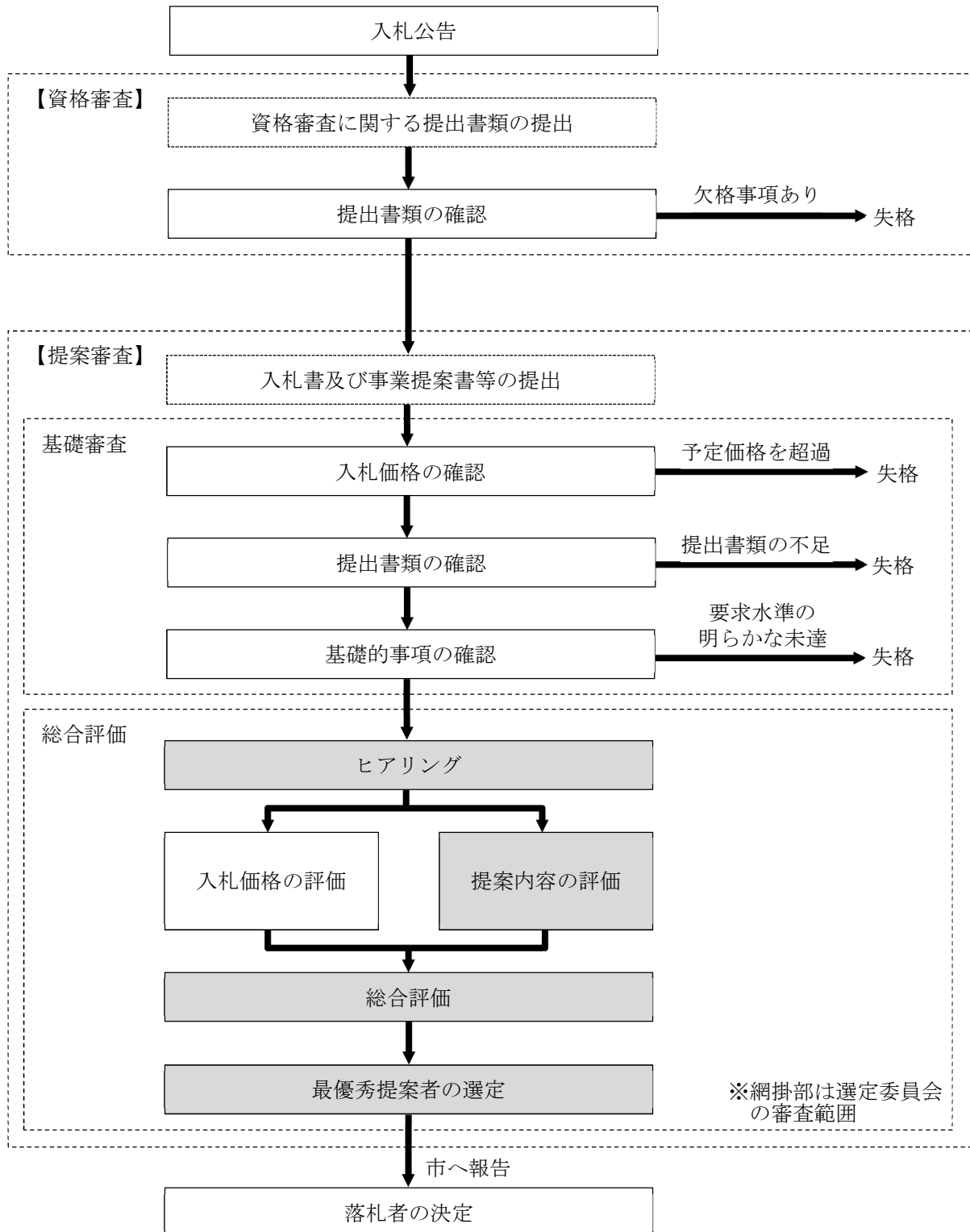
「提案審査」は、入札書に記載された金額が予定価格以下であることの確認や要求水準書に示す内容を満足しているか否かを確認する「基礎審査」と、入札価格や提案内容の水準を様々な視点から総合的に評価する「総合評価」を行いました。(図1 参照)

(4) 構成

市が設置した選定委員会は、以下5名の委員により構成しました。

委員氏名 (五十音順)	所属する団体名及び役職名
岡崎 均 (副委員長)	大阪体育大学 教育学部 教育学科 教授
梶田 晋吾	京都先端科学大学 経済経営学部 経営学科 特任教授
菊池 健太郎	菊池健太郎公認会計士事務所 公認会計士
鈴木 賢一 (委員長)	名古屋市立大学 特任教授
徳尾野 徹	大阪公立大学大学院 工学研究科 教授

図 1 : 審査の進め方



2 選定委員会の開催及び審議・審査の経緯

選定委員会は、第1回から第3回まで全3回開催し、事業者選定に関する事項の審議・審査を行いました。選定委員会の開催及び落札者決定までの経緯を表1に示します。

表1 選定委員会の開催及び落札者決定までの経緯

日付	内容
令和6年6月20日	第1回選定委員会
令和6年7月1日	実施方針及び要求水準書（案）の公表
令和6年7月8日・9日	第1回現地見学会の開催
令和6年7月1日から12日まで	実施方針等に関する質問の受付
令和6年7月22日	実施方針等に関する質問への回答の公表
令和6年7月31日	第2回選定委員会
令和6年8月8日	入札公告
令和6年8月22日・8月23日	第2回現地見学会の開催
令和6年8月28日	入札説明書等に関する質問締切
令和6年9月11日	入札説明書等に関する質問に対する回答の公表
令和6年10月4日	資格審査書類の受付
令和6年10月16日	資格審査書類の審査結果の通知
令和6年11月29日	提案提出書類の提出、開札
令和6年12月25日	第3回選定委員会
令和7年1月8日	市による落札者の決定及び公表

3 事業提案書の審査経過

(1) 資格審査

令和6年10月4日までに2応募グループから参加書類の提出があり、提出された参加書類をもとに、市は、入札説明書に記載する参加要件及び資格要件等の具備を確認しました。その結果、2応募グループが参加資格を有することを確認しました。

(2) 提案審査

ア 提案提出書類の提出

令和6年11月29日までに資格審査を通過した2応募グループのうち1応募グループ（1応募グループは入札辞退）から本事業に関する事業計画等の提案内容を記載した提出書類（提案書等）及び入札書が提出されました。

市は、開札を行い、入札価格が予定価格の範囲内であることを確認しました。

イ 基礎審査

入札価格が予定価格の範囲内であること、提出書類の不足等がないこと及び基礎的事項の確認をし、1応募グループの提案内容が総合評価の対象となりました。

ウ 総合評価

(ア) ヒアリング

第3回選定委員会において、基礎審査を通過した1応募グループの提案内容について、応募グループにヒアリングを実施しました。ヒアリングは、提案内容に関するプレゼンテーション20分、質疑応答約25分の構成で実施しました。

(イ) 入札価格の評価

応募グループの入札価格に対して得点化を行いました。

(ウ) 提案内容の評価

応募グループのヒアリングを踏まえた上で、各委員が提案内容を評価項目ごとに採点し、選定委員会としての提案内容評価点を決定しました。

(エ) 最優秀提案の選定

入札価格評価点と提案内容評価点を合計して総合評価点を算出し、選定委員会は、提案を行った応募グループを最優秀提案者として選定しました。

4 事業提案書の審査の方法

(1) 入札価格の評価【20 点】

入札参加者の入札価格に対して、以下の考え方に基づいて点数化を行いました。なお、算出された点数の小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までの数値とし、算出結果が20点を超える場合であってもその入札価格評価点は20点としました。

入札価格評価点

$$= 20 \times 5.25 \times (1 - (\text{入札価格} / \text{予定価格}))$$

(2) 提案内容の評価【80 点】

提案内容を表2に基づき採点しました。なお、採点基準による採点は、評価項目ごとに各委員が評価し、全委員のうち各審査項目の最高評価点と最低評価点を除いた評価の平均点を小数点以下第3位を四捨五入して算出しました。

また、提案内容の評価項目は表3のとおりです。

表2 段階的な評価の設定

評価	評価の目安	評価点
A	具体的で特に優れた提案	配点×1.0
B	具体的で優れた提案	配点×0.8
C	具体的でやや優れた提案	配点×0.6
D	具体的で標準的な提案	配点×0.4
E	具体的であるが、標準には及ばない提案	配点×0.2
F	要求水準は満たしているが、評価できる記載がない提案	配点×0.0

表3 評価項目の具体的な項目及び評価の視点等

評価項目		評価の視点	配点
1	基本方針及び事業実施体制等		6
	(1) 本事業に関する基本方針	・本事業の基本理念や学校環境を取り巻く環境の変化、事業対象地の地域性を踏まえた計画の提案 ・事業全体の方針及び計画と整合のとれた設計、建設、工事監理業務の個別計画の提案	2
	(2) 事業実施体制	・代表企業及び構成企業における役割及び責任分担の適切性 ・市への報告、連絡、協議の方法 ・セルフモニタリングの方法	2
	(3) 事業収支計画及びリスク管理	・事業費の適切性 ・資金調達の方法 ・予期せぬ費用負担等への対応方法 ・想定されるリスクの分析 ・リスクの低減策や防止策 ・保険付保の有無	2
2	学校施設等整備に関する事項		48
	(1) 施設計画の基本的な考え方	・豊かな学習や活動空間の創出、学校と多機能化施設及び地域との連携、地域住民の居場所づくりが可能な全体施設コンセプトの提案 ・義務教育学校としての9年間の児童生徒の体験や活動を考慮し、多様な取組や授業を展開できるような学校運営を見据えた学校施設コンセプトの提案	6
	(2) 意匠計画の考え方		
	①全体配置計画等	・学校教育ゾーン、管理諸室ゾーン、多機能化施設ゾーンの区分が明快かつそれぞれの特性に適した全体配置計画の提案 ・今後の社会情勢の変化及び社会的なニーズにも柔軟に対応するための全体配置計画における工夫 ・施設利用上の安全性・利便性・維持管理の容易性に配慮した動線計画と外構計画の提案 ・豊かな自然環境を感じることができる植栽計画の提案 ・児童生徒の活動に十分な広さと魅力的なグラウンドの提案 ・敷地周辺の景観や住宅環境への配慮	9
	②学校施設計画	・学年段階の区切り「4－3－2制」を考慮した施設計画の提案 ・多様な学習形態に対応できる諸室配置や使い方、柔軟性のある諸室の設えの工夫 ・児童生徒の生活環境に相応しい共用部等の演出やデザインの工夫 ・教職員の間のコミュニケーションの向上や、効率的な執務を実現するための機能性と柔軟性を兼ね備えた管理諸室等の提案 ・施設の利用・運営・維持管理の効率性を高めた明快な動線・セキュリティ計画の提案 ・今後の社会情勢の変化及び社会的なニーズにも柔軟に対応するための施設計画における工夫 ・避難所としての利用を見据えた災害時の有効活用に資する施設計画の提案 ・建物の長寿命化、維持管理の容易さに寄与する耐候性のある内外装材の提案 ・親しみやすく認知しやすいサイン計画やユニバーサルデザインへの配慮	10
	③多機能化施設に関する計画	・施設利用に配慮したサービス向上に資する提案 ・学校施設との明確なセキュリティ対策の工夫 ・学校施設と多機能化施設の連携を誘発するような諸室配置や使い方の提案 ・建物の長寿命化、維持管理の容易さに寄与する耐候性のある内外装材の提案 ・親しみやすく認知しやすいサイン計画やユニバーサルデザインへの配慮	5

評価項目		評価の視点	配点
	(3) 環境への配慮	・地域に親しまれる景観形成に資する提案 ・気候や風土、文化性を踏まえた外装仕上の工夫（色合い・形状等） ・適切な再生可能エネルギー設備の導入、省エネルギー、省資源、リサイクル等を考慮した提案 ・児童・生徒の環境教育に貢献する工夫 ・環境性能基準（ZEB や CASBEE）における目標の設定とそれに応じた対策の提案	5
	(4) 構造計画の考え方	・使用上、工期、経済性を考慮した適切な工法の選定 ・建物長寿命化への工夫 ・各用途に応じた構造体・非構造部材・設備の耐震性の確保	3
	(5) 設備計画の考え方	・施設の運営の効率化、利便性向上、設備機器の更新・メンテナンス等を考慮した設備計画の提案 ・学校施設、屋内運動場、多機能化施設における空調計画の考え方の提案 ・ライフサイクルコストの低減のための効果的な提案 ・故障時、学校運営への影響が最小限となる工夫	4
	(6) 什器・備品等の考え方	・多様な学習形態を実現する什器備品選定 ・教育環境の向上に資する什器備品選定	3
	(7) 防災・安全計画の考え方	・児童生徒の使用を想定し、危険な使われ方や事故を防ぐ提案 ・衝突安全性、落下防止等の提案 ・防犯に配慮した設備機器の提案 ・災害に対する施設の安全性確保に関する提案 ・地震発生時の被害軽減策の提案 ・避難計画に関する提案 ・避難所運用を考慮した施設の工夫に関する提案	3
3 建設・工事監理業務に関する事項			10
	(1) 施工体制	・無理のない施工体制や施工計画 ・施工品質確保への取組み ・災害の発生防止策 ・万一の事故発生時の対応	2
	(2) 工事期間中の安全性や生徒・周辺住民等への配慮	・建設工事期間中の児童・生徒等の利用者の安全への配慮 ・建設工事期間中の周辺環境や学習環境等への配慮 ・建設工事期間中に苦情を出さないための対応や生じた苦情への対応の提案 ・安心安全な工事進入路の提案	3
	(3) スケジュールの適切性	・具体的かつ的確なスケジュールの提案 ・工期遵守のための方策の提案	3
	(4) 工事監理に関する事項	・工事監理業務を効果的に実施するための工夫（本施設の特性を踏まえた工事監理の留意点やポイント等）の提案 ・工事監理業務を着実に実施するための手順（工事着工から竣工までの工事監理の体制、フロー、市への報告方法等）に係る提案 ・確実な品質管理に係る実施体制の提案	2
4 事業全体に関する事項			16
	(1) 事業者独自のノウハウやアイデア	・事業者独自のノウハウやアイデアに基づく提案（建築物の構造・設備等の性能向上、デジタル技術の活用等による教育環境の充実や向上に資する新技術の提案 ※ただし、ZEB は除く）	3
	(2) 地元経済への配慮、地域社会への貢献		
	① 地元経済への配慮（地元の人材活用、地元からの資源調達、地元企業の参画等）	・市内企業の活用金額 ・市内企業への発注金額／提案見積価格（総額） 15%以上：4点、15～10%：3点、10～5%：2点、5～1%：1点 ・建設企業が市内業者単体又は市内業者とJVを組成した場合は上記点数に4点を加算	8
	② 利用者への配慮・地域社会への貢献	・市の教職員の意向聴取し、効果的に設計に反映する手法の提案 ・設計・建設時の児童や地域住民等の参画方法に関する具体的かつ効果的なアイデア（参画促進の方法、意見反映方法ほか）など、地域社会への貢献の提案	5

（３）最優秀提案の選定

入札価格評価点（20 点満点）と提案内容評価点（80 点満点）を合計して総合評価点を算出し、最優秀提案者として選定しました。

総合評価点（100 点）＝入札価格評価点（20 点）＋提案内容評価点（80 点）
--

5 審査結果

(1) 入札価格評価点

応募グループの入札価格について、4 (1) に示す方法で評価し、点数化した結果、入札価格評価点は表4のとおりでした。なお、本項以降、応募グループを提案受付番号で表記又は呼称します。

表4 入札価格評価点

提案受付番号	K07
入札価格（税抜）	6,050,000,000 円
入札価格評価点	5.76 点

(2) 提案内容評価点

応募グループの提案内容について、4 (2) に示す方法で評価し、採点した結果、提案内容評価点は表5のとおりでした。提案内容評価点の詳細は表6を参照してください。

表5 提案内容評価点

提案受付番号	K07
提案内容評価点	42.01 点

表 6 提案内容評価の詳細

評価項目等	配点	K07
1 基本方針及び事業実施体制等	6	
(1) 本事業に関する基本方針	2	0.80
(2) 事業実施体制	2	0.93
(3) 事業収支計画及びリスク管理	2	1.20
2 学校施設等整備に関する事項	48	
(1) 施設計画の基本的な考え方	6	3.20
(2) 意匠計画の考え方		
①全体配置計画等	9	3.60
②学校施設計画	10	4.00
③多機能化施設に関する計画	5	2.00
(3) 環境への配慮	5	2.67
(4) 構造計画の考え方	3	1.40
(5) 設備計画の考え方	4	1.87
(6) 什器・備品等の考え方	3	1.40
(7) 防災・安全計画の考え方	3	1.40
3 建設・工事監理業務に関する事項	10	
(1) 施工体制	2	1.07
(2) 工事期間中の安全性や生徒・周辺住民等への配慮	3	1.80
(3) スケジュールの適切性	3	1.60
(4) 工事監理に関する事項	2	0.80
4 事業全体に関する事項	16	
(1) 事業者独自のノウハウやアイデア	3	1.60
(2) 地元経済への配慮、地域社会への貢献		
①地元経済への配慮（地元の人材活用，地元からの資源調達，地元企業の参画等）	8	8.00
②利用者への配慮・地域社会への貢献	5	2.67
合 計	80	42.01

（３）最優秀提案の選定

提案受付番号【K07】の入札価格評価点と提案内容評価点を合計した総合評価点は、表 7 のとおりです。

表 7 総合評価点

提案受付番号	配点	K07
入札価格評価点	20 点	5.76 点
提案内容評価点	80 点	42.01 点
総合評価点	100 点	47.77 点

最後に、事務局から応募グループと提案受付番号が表 8 のとおり発表されたことを受け、落札者決定基準に基づき、旭工建グループを最優秀提案者として選定しました。

表 8 総合評価の対象となった応募グループの概要

提案受付番号		K07
応募グループ名		旭工建グループ
代表企業		株式会社 旭工建 本店
構成員	建設企業	株式会社 旭工建 本店
	設計企業	株式会社 内藤建築事務所 大阪事務所
	工事監理企業	株式会社 小西設計